

カーボンニュートラル実現シナリオ構築等に向けた国際連携事業

令和4年度予算額 3.1億円（新規）

資源エネルギー庁 長官官房 国際課
資源エネルギー庁 資源・燃料部
石油・天然ガス課
産業技術環境局 総務課国際室

事業の内容

事業目的・概要

- 世界全体でのカーボンニュートラルの実現には、米国や欧州等の先進国やアジア等新興国各国との国際連携を進めることが必要です。
- このため、昨年策定した「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」に基づき、アジア各国をはじめとする新興国に対する脱炭素化支援を強化するとともに、米国・欧州等先進国とのイノベーション・インフラ関連の連携強化を目指します。

成果目標

- ERIA等国際機関との連携や、調査報告書の作成等を通じ、アジア等新興国に対しては気候変動対策と経済成長を両立させる現実的なエネルギー移行の姿を提案し浸透させます。
- また、欧米等先進国についてはイノベーションの創出やインフラの実装に向けた協力関係を構築し、日本の技術力向上やインフラ輸出の促進、さらには2050年カーボンニュートラルの実現を目指します。
- 国際会議の開催等を通じて、世界の気候変動対策と経済成長の両立についての情報発信を行います。

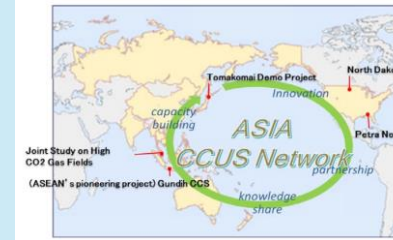
条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

1. アジア等新興国との協力

アジア各国の脱炭素化に向けた協力促進のための調査や、ASEAN各国の脱炭素化シナリオ構築支援、アジアCCUSネットワークの運営等を通じて、アジア等新興国の現実的な脱炭素化に向けた支援を行います。



アジアCCUSネットワーク

2. 米国、欧州等先進国との協力

米欧各国とは、ミッション・イノベーションや脱炭素化協力事業調査を通じたイノベーション・インフラ等の協力促進を行います。



ミッションイノベーション閣僚会合

3. グリーン成長パートナーシップ国際会議の開催

気候変動対策と経済対策を両立させる現実的なエネルギー政策について、具体的プランを発表するための国際会議を開催します。

